

古代における銚子周辺の重要性と海跡湖「椿海」にまつわる伝説について

銚子ジオパーク推進協議会事務局 岩本直哉



古代の銚子周辺は、東国の守り、砂鉄の産地としてヤマト王権にとり重要な地域だった。銚子の猿田神社では海跡湖「椿海」と下総国・上総国の名前の由来にまつわる伝説がある。この伝説は、この地域でヤマト王権側が反抗する勢力を鎮圧した事がもととなっている可能性が高い。

★古代における銚子周辺の重要性



香取神宮：経津主命（ふつぬしのみこと） 鹿島神宮：建御雷命（たけみかづちのみこと）

経津主命・建御雷命は、高天原からの最後の使者として出雲（島根県）に派遣され、大国主命に国譲りを承知させたとされる神。ともに東方の征圧に尽力した武の神として知られる

○東方の守りの地ともに

古代には、銚子周辺（香取海）が東北に君臨した蝦夷（えみし=大和朝廷に服属しなかった東北を領有した民）の征討するための最前線に位置し、香取神宮・鹿島神宮は、その平定を目的に創建されたと推測できる。

○良質な砂鉄の産地

『常陸国風土記』

「慶雲元年（704）国司が鍛冶師を連れて若松の浜で浜砂鉄を採り、これで剣を造った。この若松の浦（若松の浜周辺の浦）は常陸・下総両国の国境であり、その若松の浦の安是の湖（利根川河口周辺）に産する砂鉄は剣を造るといそう良く切れる。しかしながら、そこは香島の神の神域にあたるので、松を伐採したり砂鉄を掘ることはできない」

→ かつて（17世紀中頃まで）鬼怒川水系の河口であった銚子周辺では、砂州や砂堆に良質な砂鉄（Ti が少ない）が堆積していた。

★猿田神社に伝わる伝説



猿田神社：猿田彦大神など
高さ10メートルほどの台地上に位置し、社殿を取り囲んでスダジイが優占する極相林となっている。この森は銚子ジオパークのエコサイトとなっている。

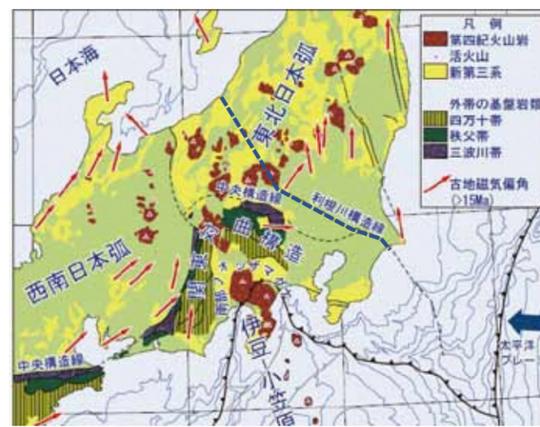
椿海（つばきのうみ）：魔王が引き抜いた椿の樹の跡

世界最大級の浜堤平野（海流によってもたらされた土砂によってできた）「九十九里平野」にかつて存在した海跡湖。縄文海進以降、九十九里平野は形成され、前進していった。椿海は江戸時代に干拓され、現在は存在しない。



遠い昔、海上（うなかみ）、匝瑳（そうさ）、香取（かとり）の三郡にまたがる枝をもった大きな椿の木があった。この木は、猿田彦命（さるだひのみこと）が国を分ける時に、国境に植えたものだったと伝えられている。日本の三大木の一つにあげられているだけあって、いつも天上には雲や霞（かすみ）がかかり、昼でも夜のように暗かったそうだ。鬼満国（おにまんごく）の魔王は、日本の国を滅ぼして、自分の国にしようと、この椿の木に住みついて長い間狙っていた。そこで、海上の国におった猿田彦命は、香取の経津主命（ふつぬしのみこと）、鹿島の建御雷命（たけみかづちのみこと）の力をかりて、魔王を退治することにした。さっそく、二神は魔王に戦いを挑んで、天の鹿島矛（かしまゆみ）という力の強い矛に、天の羽々矢（ははや）という羽の広い大きな矢をつがえ、魔王目掛けて射った。不意をつかれた魔王は、初め慌てていたが、もともと力の強い奴「ウォーツ」、「ウォーツ」と唸（うな）りながら、椿の木を抱え込んで揺った。「わさ、わさ、わさ、わさ」木が動くたびに、天と地が引っくり返りそうに揺れた。香取、鹿島の神様も負けてはいない。天の羽々矢を打ち続けた。魔王は、堪（たま）らず椿の木を根こそぎ引っくり返して、東の海へ飛び去ってしまった。そして、椿の木が抜けた跡に水が溜まり、大きな湖となり、それが椿の湖と言われるようになった。椿の木が倒れた方向によって、上の方が上総（かずさ）、下の方が下総（しもふさ）と呼ばれている。

- ・猿田・香取・鹿島のヤマト王権の勢力が、この地にいた反勢力を鎮圧した事が話のもとになった可能性が高い。
 - ・状況証拠のみで直接的な証拠がない。
- 古墳時代など古代の逸話は証拠を見つけるのが難しい・・・



因みに・・・

利根川構造線

- ・フォッサマグナ東縁
- ・西南日本・東北日本を分ける？
- ・かつて椿海があった場所付近を通る??

高橋・安藤（2016）

★東国三社めぐりと銚子浜磯めぐりのご提案



利根川図誌（赤松宗旦）に紹介された銚子浜磯めぐり



台地の上からかつての椿海を望む

「銚子磯浜めぐり」



隆起と侵食によってできた風景

「東国3社めぐり」



ヤマト王権 東の守り

江戸時代、香取神宮・鹿島神宮・息栖神社の三社を参詣する東国三社詣のオプションツアーとして銚子周遊の小旅行（銚子浜磯めぐり）が江戸っ子たちに人気を博しました。これらのツアーに、今回紹介した猿田神社を加え、最後にかつての椿海を台地のうえから眺める、ヤマト王権に因んだ小旅行（ジオツアー）はいかがでしょう？